

小雨の中 銀輪駆ける



一斉にスタートする出場者＝17日午前8時半、内灘町のコンフォモール内灘

ツール・ド・のと開幕

第23回「ツール・ド・のと400」能登半島一周サイバル・サイクル2011（同実行委、石川県自転車競技連盟、北國新聞社主催）は17日、内灘町のコンフォモール内灘を発着点に3日間の日程で開幕した。小雨が降る中、1032人が沿道の声援を受けながら初日ゴールの輪島市マリンタウンに向けて力強くペダルをこいだ。

内灘で号砲

1032人ペダルこぐ

愛車とともにコンフォモール内灘に集結した出場者は、午前8時半に八十出泰成内灘町長の号砲でスタート。124・2先のゴールを目指して能登半島を北上し、海岸

沿いのコースに銀輪を運ねた。

今大会には、7581歳の1351人がエントリーした。初日は全長412・7キロのチャンピオンコースに567人、内灘輪島を走る一日コースに465人が挑んだ。開会式では、山本正美北國新聞社事業局長があ

いさつ、八十出町長と綾誼原自転車競技連盟会長らが出場者を激励した。

18日は輪島市から珠洲市などを巡って七尾市・能登島を目指すコース、19日は能登島から氷見市などを経由して内灘町に戻るコースで行われる。